

平成 30 年度「手づくり郷土賞 受賞記念発表会」参加報告

国土交通省より平成 30 年度「手づくり郷土(ふるさと)賞」23 団体に選ばれ、平成 30 年 12 月 16 日に東京国際交流館で開催された「手づくり郷土賞受賞記念発表会」に参加し、活動内容を発表してきました。

手づくり郷土賞は地域活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体の努力を表彰するものです。昭和 61 年に創設され、平成 30 年で 33 回目の開催となる国土交通大臣表彰です。平成 30 年度は 53 団体の応募の中から 23 団体が選ばれ、一般部門 20 団体、大賞部門 3 団体が 3 分間のプレゼンテーションと 3 分間の質疑応答によりグランプリ、ベストプレゼン賞が選出されました。

青木理事長と岩崎事務局長二人で発表会に参加しましたが、河川敷の植樹や工芸作品の設置などが選ばれることは多々ありますが、良質な社会資本として流域河川環境マップが選ばれることは極めて稀ではないかと感じました。

「手づくり郷土賞」認定授与式は平成 31 年 2 月 15 日出雲市役所において、国土交通省中国地方整備局主催で行われます。出雲市では 5 年ぶり 6 度目の受賞となります。



斐伊川・神戸川流域環境マップづくりをプレゼンテーションで発表する岩崎事務局長



関係者全員で記念撮影